

HÀU

2020 Spring & Summer

長い冬が終わったら着たいのは

春の風になびく、水玉のワンピース。

春の夜、白いTシャツの上に羽織るリネンのカーディガン。

真夏の空に映える、サックスブルーのタンクトップ。

身に纏うことで身も心も自由に健やかになるような、

自分が、自分らしくいられる服。

いま着たいのは、こんな服。

—— HAU 2020 Spring & Summer “Water”

Water.













この服ができるまで。

— HAU の服づくりにまつわる、6 つの話

Story 1.

“salon”

「HAU らしいシャツ」って、どんなデザインだろう？

シャツは苦手。でも時々、首元を引き締めて“きちんと感”を出したい日もある。

そんな話を周りにしてみると、意外にも同じ意見を持っている人が多いことに驚きました。

そこで考えたのが、肩部分にパッチを施して、たっぷりギャザーを入れるデザイン。

メンズライクだけれど甘さを感じさせないディティールを少し加え、シャープさの中にも女性らしさを感じられる一着に。

生地は、薄手でありながらも適度なハリ感のある「コットンタイプライター」。

染める前の段階で長時間揉み、生地が最もリラックスした状態から生まれた“自然なシワ感”が魅力です。

適度なハリ感があるので、着用した時に綺麗なシルエットが出るのも、この生地の特徴の一つ。

甘さを感じさせないギャザーは、このハリ感があるからこそ実現したものなのです。



shirts “salon”

Story 2.

“herringbone”

シンプルなトップスが好きです。

だからこそ、最近着こなしの軸となるパンツに目を向けるようになってきました。

少し前までは、パンツを数本揃えてそれに合うトップスをデザインすることが多かったのですが、ここ最近はトップスを軸にパンツのデザインを考える、という順番に変わってきました。「基本の1本」にもなる、ボーイッシュで履き心地も楽なパンツをつくりたいと思い生まれたのが、このパンツです。

私にとってパンツは“道具”的な立ち位置のアイテム。シルエットはもちろん、機能性も外せません。ウエストをゴムにすることで、より履きやすく、動きやすく。後ろには大きめのパッチポケットをつけて、ボーイッシュな雰囲気に仕上げました。

シルエットは、適度にゆとりのあるストレート。裾を折って履いた時にもスッキリと見えるよう、裾まわりを少し狭く。生地は、適度に表情が出るヘリンボーン素材を使用しています。ちなみに「herringbone」という名称は、魚のニシン (herring) の骨 (bone) の形状に由来しているそうですよ。



pants “herringbone”

Story 3.

“seem”

着心地は良いけれど、端の始末が下着っぽい。
色が素敵だけれども、インナーとしては生地が厚い。
機能性に偏りすぎている。

これまで「ちょうど良い」と思えるインナーに、なかなか巡り会えませんでした。

ちょっとしたバランスで、見えても大丈夫！ と思ったり、思わなかったり。

目指したのは、着心地は肌着のように柔らかく繊細でありながらも下着っぽさを感じさせない、健康的なイメージのインナー。襟ぐりと袖口の切り替え幅を太めにデザインすることで、肌着というより洋服の雰囲気を持ったものに。

薄手のフライス生地を使い、柔らかかで包まれるような優しい肌触りも実現しました。

デザインはタンクトップ、ハイネック（半袖）、クルーネック（長袖）の3型をご用意。

“seem”とは、“見える ”という意味。その名の通り、見えてもいいと思えるインナーができました。



tops “seem”

Story 4.

“gauze”

ここ数年、四季の境目がどんどん曖昧になってきている気がします。

「いま、必要とされている洋服はどんなものだろう？」

考えているうちに思いついたのは、“これは夏服、これは冬服”という概念はいったん置いておいて、狭間の時期に長く着ることを意識して服をつくってみよう、ということでした。そして誕生したのが、HAUの定番アイテム“gauze”シリーズです。

ガーゼのようなタッチが心地よい生地「ラフィー天竺」は、一つひとつ丁寧に手摘みされた綿を紡いで糸にしたものを紡績して出来たもの。空気を含みながらゆっくりと織り上げることで、凹凸感と独特のニュアンスをもつ仕上がりに。何度も洗いをかけたような、くったりとした雰囲気も魅力の一つです。

ご用意したのは、Tシャツ、ノースリーブトップス、ワンピースの3型。

ホワイト、ライトグレー、チャコールグレーの定番色に加え、今回のテーマである“Water”にちなんだパール感のある水色を加えました。



one piece “gauze”

Story 5.

“coton”

“coton”とは、フランス語で「綿」という意味。

軽くて柔らかい、上質な綿を使用したニットです。

前のページでご紹介した「gauze」シリーズ同様に、春先、梅雨の時期、秋口まで長い期間着用していただくことをイメージしてつくりました。

実際に着ていただくと、肌馴染みの良さプラス、着心地の軽さにも驚くはず。この独特の柔らかく温もりのある風合いは、糸の段階で起毛させたものを編み立てることで実現したものです。

素材の良さを最大限に活かすために、デザインは首元の開きすぎない、シンプルなクルーネックプルオーバーにしました。

どこかミリタリー感のあるメンズライクな雰囲気を意識した色展開と、ややコンパクトなサイズ感も特徴です。

上品にもカジュアルにも見える、HAUの定番と呼べる一着ができました。



knit tops “coton”

Story 6.

“canvas”

基本的に流行に左右されないベーシックでシンプルな服装が好きですが、アウターに関しては旬をさりげなく取り入れたデザインが好きです。

1年前、はじめてのコレクションでつくったこのコートは、すでに多くの方に好評頂いているアイテムの一つです。

“canvas”の由来は、絵を描く際のキャンパスのような生地を使っていることから。

空気を含みながらゆっくりと時間をかけて織っているため、シンプルな無地の生地でありながらも、ふっくらとした温かみのある風合いに仕上がっています。自然なシワ感は、手作業だからこそ実現できたもの。

このシワ感のおかげで、無造作に羽織っただけで上品でこなれた雰囲気演出でき、旅行や車の移動の際もシワを気にすることなく着用できるという合理面もクリアできました。

今年は、寒い時期に首元をカバーできるようフードの根元に小さなボタンを付け、よりコートとしての機能を高めてリニューアルしました。



coat “canvas”

■ P3 ～ 5

one piece "ebony dot"

Price : ¥21,000
Color : シロ × クロ、カーキ × クロ
Material : コットン 100%
9211-1062 / DO-010-SS20

■ P6 ～ 7

cardigan "bolero"

Price : ¥14,000
Color : グレー、チャコールグレー、リーフグリーン
Material : コットン 100%
9211-1073 / DO-023-SS20

skirt "lino"

Price : ¥24,800
Color : キャメル、チャコールグレー、サックス
Material : リネン 100%
9211-1072 / DO-038-SS20

■ P8

jaket "rustic"

Price : ¥23,000
Color : ページュ、ブルー
Material : コットン 70% リネン 30%
9211-1054 / DO-006-SS20

high neck "seem"

Price : ¥6,500
Color : ホワイト、マスタード、チャコールグレー、ブラック
Material : コットン 100%
9211-1060 / DO-030-SS20

pants "herringbone"

Price : ¥15,000
Color : アイボリー、ネイビー
Material : コットン 100%
size : 36、38
9211-1048 / DO-001-SS20

■ P11

knit vest "plump"

Price : ¥14,000
Color : ページュ、チャコールグレー
Material : コットン 100%
9211-1057 / DO-019-SS20

pants "drawers"

Price : ¥16,800
Color : チャコールグレー、ブルー
Material : コットン 100%
9211-1063 / DO-011-SS20

■ P12

one piece "salon"

Price : ¥22,000
Color : ホワイト、ページュ、サックス
Material : コットン 100%
9211-1056 / DO-008-SS20

■ P15

shirts "salon"

Price : ¥15,000
Color : ホワイト、ページュ、サックス
Material : コットン 100%
9211-1055 / DO-007-SS20

■ P17

pants "herringbone"

Price : ¥15,000
Color : アイボリー、ネイビー
Material : コットン 100%
size : 36、38
9211-1048 / DO-001-SS20

tank top "seem"

Price : ¥5,500
Color : ホワイト、マスタード、チャコールグレー、ブラック
Material : コットン 100%
9211-1058 / DO-028-SS20

■ P19

high neck "seem" (上)

Price : ¥6,500
Color : ホワイト、マスタード、チャコールグレー、ブラック
Material : コットン 100%
9211-1060 / DO-030-SS20

tank top "seem" (中)

Price : ¥5,500
Color : ホワイト、マスタード、チャコールグレー、ブラック
Material : コットン 100%
9211-1058 / DO-028-SS20

tops "seem" (下)

Price : ¥6,900
Color : ホワイト、マスタード、チャコールグレー、ブラック
Material : コットン 100%
9211-1059 / DO-029-SS20

■ P21

one piece "gauze"

Price : ¥14,800
Color : ホワイト、ライトグレー、チャコールグレー、サックス
Material : コットン 100%
9211-1067 / DO-033-SS20

■ P23

knit tops "coton"

Price : ¥13,000
Color : チャコールグレー、カーキ、ブラック
Material : コットン 100%
9211-1052 / DO-017-SS20

■ P25

coat "canvas"

Price : ¥32,000
Color : アイボリー、サックスグレー、カーキ
Material : コットン 100%
9211-1051 / DO-003-SS20

tank top "seem"

Price : ¥5,500
Color : ホワイト、マスタード、チャコールグレー、ブラック
Material : コットン 100%
9211-1058 / DO-028-SS20

pants "herringbone"

Price : ¥15,000
Color : アイボリー、ネイビー
Material : コットン 100%
size : 36、38
9211-1048 / DO-001-SS20

※ 各商品の料金は税抜き価格となります。
※ 商品の仕様は、予告なく変更となる場合がございます。

HAU に関するお問い合わせ：

✉ hau_clothes@claska.com

📷 [hau_clothes](https://www.claskashop.com)

CLASKA

<https://www.claska.com>

CLASKA ONLINE SHOP

<https://www.claskashop.com>

株式会社クラスカ

〒152-0001

東京都目黒区中央町 1-3-18

From designer

私の blue。



今シーズンのテーマは「Water」。

この言葉から連想する色の一つである「青」を、さまざまなアイテムに取り入れました。

「青」といえば、ふと思い出したのは 10 年ほど前に購入したインド刺繍の青いブラウスのこと。

メキシコの刺繍やハンガリー刺繍のようなカラフルで主張する刺繍も好きですが、

いざ自分が着るとなると、このくらいライトな感じがちょうどいい。

年齢を重ねた今でも、変わらず自分の気分フィットします。

綺麗なサックスブルーに濃い青の刺繍。

今思えば、今回のコレクションのいくつかのアイテムを染めた「青」は、

このブラウスの記憶が反映されているような気がします。

HAU デザイナー

薬谷真生

Design & Styling / MAO WARAGAI (HAU)

Photo / MAYA MATSUURA Hair & Make / SAKURA (MAKIURA OFFICE) Model / SHIKI (N.F.B)

Edit / MARIKO OCHIAI (CLASKA) Graphic Design / HITOSHI FUKUSHIMA (CLASKA) Print / KOBUNSHA